

UDC 003.62 : 621.7 : 621.9

B 0122

JIS

加工方法記号

JIS B 0122-1978

(2003 確認)

(2008 確認)

昭和 53 年 2 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

工作機械部会 加工方法記号専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	伊藤 鎮	上智大学理工学部
	上田 重朋	早稲田大学理工学部 (金属表面技術協会)
	遠藤 幸雄	株式会社光陽社 (研磨布紙協会)
	神谷 清弘	株式会社不二越 (日本工具工業会)
	熊田 成而	日産自動車株式会社工機工場
	中林 正義	労働省職業訓練局
	五月女 郁雄	社団法人日本産業機械工業会
	嵯峨 敏郎	高周波熱練株式会社 (日本金属熱処理工業会)
	阪部 喜代三	株式会社日本製鋼所 (日本鋳鍛鋼会)
	佐藤 紀八	社団法人日本ダイカスト協会
	鈴木 直道	通商産業省機械情報産業局
	高橋 豊	日本工作機械工業会
	千々岩 健児	東京大学工学部
	中嶋 一浩	三井研削砥石株式会社 (研削砥石工業会)
	葉山 房夫	早稲田大学理工学部
	福永 太郎	東京都立工科短期大学
	本田 巨範	畿徳工業大学
	益子 正巳	武蔵工業大学
	山口 文雄	松原工業株式会社 (日本金属プレス工業協会)
	若曾根 和之	工業技術院標準部
(専門委員)	内藤 俊雄	日本国有鉄道鉄道技術研究所
(事務局)	桜井 俊彦	工業技術院標準部機械規格課
	津金 秀幸	工業技術院標準部機械規格課

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 39.12.1 改正：昭和 53.2.1 確認：平成 11.4.20

官報公示：平成 11.4.20

原案作成協力者：社団法人 日本機械学会

審議部会：日本工業標準調査会 工作機械部会 (部会長 本田 巨範)

審議専門委員会：加工方法記号専門委員会 (委員長 伊藤 鎮)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部標準業務課 産業基盤標準化推進室 (☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

加工方法記号

B 0122-1978

(1999 確認)

Symbols of Metal Working Processes

1. 適用範囲 この規格は、主として金属に対し一般に使用する二次加工以降の加工方法を、図面、工程表などに表示するのに用いる記号について規定する。
2. 分類 分類は、次による。
 - (1) 鋳造
 - (2) 塑性加工(鍛造, プレス加工, スピニング, 転造, 圧延, 押出し及び引抜き)
 - (3) 機械加工(切削, 研削及び特殊加工)
 - (4) 手仕上げ
 - (5) 溶接
 - (6) 熱処理
 - (7) 表面処理
 - (8) 組付け
 - (9) その他
3. 記号の形式 記号は、ラテン文字のアルファベット大文字1字又は数文字を組み合わせたものとする。

備考 記号の数をそろえる必要のある場合は、空白を埋めるためにアルファベットのうちXを使用する。加工方法記号としては使用しない。
4. 記号 記号は、次による。

なお、引用した英語を参考に示す。太字体は、引用した文字を表す。